

# いけばな小原流

## イベント開催のご案内

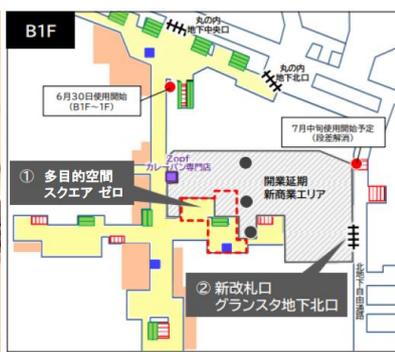
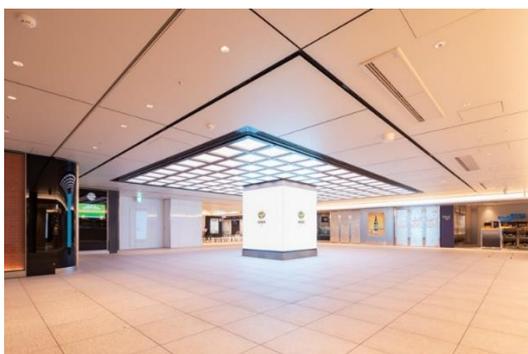
### お花の力を届けるプロジェクト

## 東京駅構内 SQUARE ZERO に、日本の春の象徴である桜を始めとする 日本の花材を用いた巨大ないけばな作品を展示します

日本中、世界中を新型コロナウイルスによる暗雲が覆っています。閉塞感が世の中を支配しているこんな時代ですが、人々の日常の営みは続いており、皆、前を向いて生きています。

4月は新たな出発の時期であり、私たち日本人にとっては新たな出会いや別れを象徴する季節です。このような状況下であっても、日々の通勤・通学で東京駅を利用される方や、4月には上京を迎える学生や、就職・転職といった人生の新しい出発を東京駅起点に迎える方がいらっしゃいます。

また、冬の寒さを耐え忍んだ季節を象徴する美しい花々が、我が世の春を謳歌し、明るい季節の訪れを告げる季節でもあります。小原流の展示を媒体にして、こうした植物のパワーをご覧いただく皆様にお届けしてエールを送りたいと考えております。



### ■ 作品展示概要

**展示期間: 2021年4月16日(金)~19日(月) 始発~終電まで**

**開催場所: JR 東京駅構内 SQUARE ZERO**

**主催:** 一般財団法人小原流

**後援:** 農林水産省

**特別協賛:** 株式会社 JR 東日本クロスステーション

**協賛:** 日本マイクロソフト株式会社、ユニアデックス株式会社、日清食品ホールディングス株式会社、

花茂本店株式会社、株式会社ワンゴジュウゴ、ココヨ株式会社、株式会社竹中工務店 ほか

**見学料:** 無料(JR 入場料のみ)

人々の心の中にある「心のふるさとの森」を小原流の伝統的な表現の一つである「大写景」を用いて表現し、見る方に離れた故郷への望郷の念や、心の繋がりを思い出させるような作品を展示いたします。

(16日11時~15時に公開制作を実施します。)

### ■ お問い合わせ先 ■

一般財団法人小原流広報課 担当者名: 川村  
TEL: 03-3499-1200 Email: kawamura@ohararyu.or.jp

## 「ふるさとの森」

新しい出発の季節に、東京駅をご利用の皆さまに向けてエールを送ります。

溢れる希望と少しの心細さを前にしたとき、ふと思い出されるのは懐かしい景色です。

深山幽谷に少し遅い春が訪れると、木々は深い眠りから覚めて芽を膨らませ、

山桜は山肌をピンク色に染めていきます。

足元を見ると、雪解けの湿原には水芭蕉が、陽射しを受けてキラキラ輝いて咲いています。

溪流の水や水面を吹き抜ける風には、まだ冬の冷たさが残りますが、

草木は迸る生命力で春を謳歌しています。

そんな一瞬を切り取った作品をいけました。

誰もが持つ心の中での原風景、“ふるさとの森”を感じていただければ幸いです。

## いけばな小原流

自然を水盤の中で小宇宙的に表現する小原流の写景自然は、日本在来の花材を使って季節の景観を表現する小原流のいけ方の一つです。

山野に自生している植物を自然のありのままの姿でいけることが特徴ですが、具体的な場所を写し取るのではなく心象風景を描き出す必要があるとされています。

主役は、花材ではなく風と水であり、自然の景観の中を風が吹き抜ける一瞬を切り取るようにしていけていきます。

枯れた葉や花も花材として利用したり、枝として使用していない紅葉を水に浮かべて、上流から落ち葉が流れてきている様子を表すなどストーリー性も魅力の一つです。

いけ方に決まりはありませんが、植生に関する知識も必要とされます。

小原流内、流外を問わず高い人気がありますが、同時に上級者であっても難易度の高い表現です。



公式インスタグラムで小原流の作品をご覧くださいませ。

